

平成17年度 (平成18年3月31日現在)

下半期財政状況の公表

市では、毎年2回、上半期(4月～9月)と下半期(10月～3月)に分けて、その会計年度の財政状況を公表しています。これは、皆さんから税金として納めていただいた大切なお金が、どのように使われたのかをお知らせするものです。

今回は、平成18年3月31日現在の平成17年度下半期の一般会計、特別会計、上水道事業会計(企業会計)の予算執行状況のほか、市債(市の借入金)の現在高などについてお知らせします。

なお、平成17年度の一般会計および特別会計については、平成18年5月31日までの出納整理期間を経て決算額となります。

☎ 財政課 ☎ 内306

一般会計の予算執行状況

平成17年度の一般会計予算現額は、平成18年3月31日現在、215億6,576万4千円です。この予算現額に対する収入済額は、209億8,534万8千円(収入率97.3%)、支出済額は201億4,057万3千円(執行率93.4%)となっています。

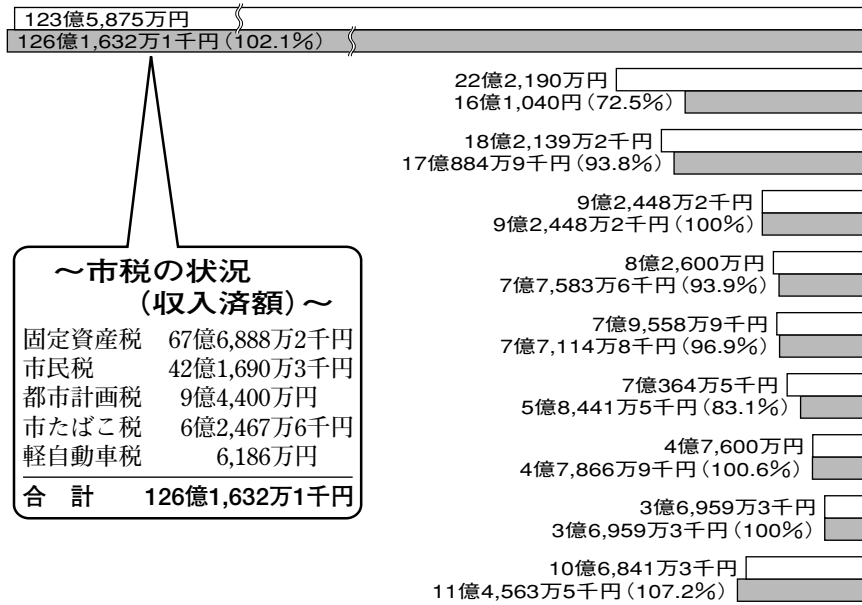
歳入では、皆さんから納めていただいた市税を始め、市債や国から交付される国庫支出金などが大きな割合を占めています。

歳出では、児童、高齢者や障害のある方などへの支援にかかる民生費、道路や排水路、公園などの整備にかかる土木費が大きな割合を占めています。

歳入

予算現額合計 215億6,576万4千円
収入済額合計 209億8,534万8千円
収入率 97.3%

()内の%は予算現額に対する収入率



～市税の状況 (収入済額)～

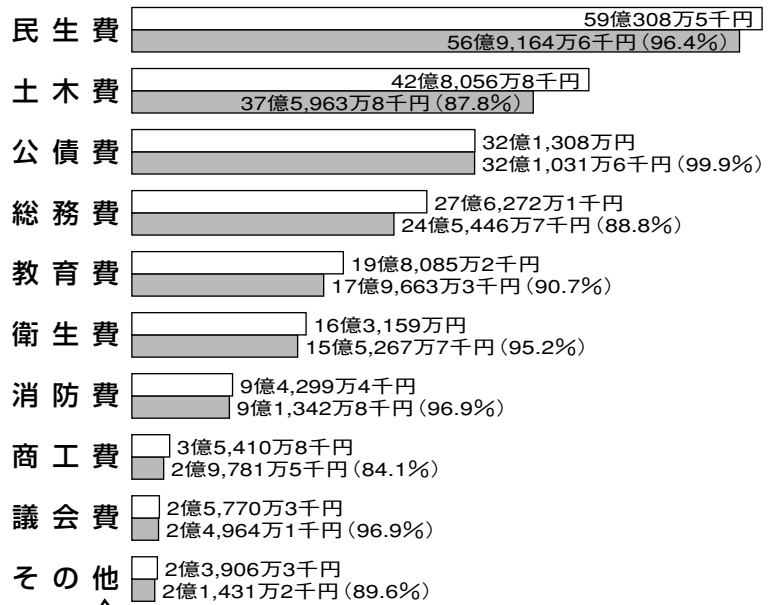
固定資産税	67億6,888万2千円
市民税	42億1,690万3千円
都市計画税	9億4,400万円
市たばこ税	6億2,467万6千円
軽自動車税	6,186万円
合計	126億1,632万1千円

その他には、繰入金、地方交付税、分担金および負担金、使用料および手数料、自動車取得税交付金、利子割交付金、財産収入、配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、寄附金が含まれます。

歳出

予算現額合計 215億6,576万4千円
支出済額合計 201億4,057万3千円
執行率 93.4%

()内の%は予算現額に対する執行率



その他には、諸支出金や農林水産業費、労働費および予備費が含まれます。

市民の皆さんの市税負担と歳出状況(年間)

市民一人当たりの市税年間負担額 16万3,206円 126億1,632万1千円 (市税収入済額合計) ÷ 77,303人 (平成18年3月31日現在の人口)	市民一人当たりの歳出予算額 27万8,977円 215億6,576万4千円 (予算現額合計) ÷ 77,303人 (平成18年3月31日現在の人口)
--	--

市民一人当たりの歳出予算額内訳

民生費	76,363円	土木費	55,374円
公債費	41,565円	総務費	35,739円
教育費	25,625円	衛生費	21,106円
消防費	12,199円	商工費	4,581円
議会費	3,333円	その他	3,092円

特別会計および企業会計

(単位:千円,%)

区分	予算現額	収入済額	収入率
		支出済額	執行率
国民健康保険	8,337,781	7,766,903	93.2
		7,595,527	91.1
公共下水道事業	4,060,116	3,144,452	77.4
		3,221,548	79.3
老人保健	3,459,876	3,341,383	96.6
		3,118,823	90.1
稲荷伊草第二土地区画整理事業	146,418	150,428	102.7
		48,534	33.1
鶴ヶ曽根・二丁目土地区画整理事業	309,884	256,351	82.7
		212,229	68.5
大瀬古新田土地区画整理事業	712,851	636,641	89.3
		454,813	63.8
西袋上馬場土地区画整理事業	267,936	261,960	97.8
		93,818	35.0
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	2,935,722	2,758,870	94.0
		2,369,367	80.7
介護保険	2,020,769	1,892,560	93.7
		1,729,492	85.6
上水道事業	予算額	収入済額	収入率
		支出済額	執行率
収益的収入	1,698,080	1,731,566	102.0
収益的支出	1,726,120	1,644,627	95.3
資本的収入	553,070	550,233	99.5
資本的支出	973,847	822,749	84.5

地方債(市債)の現在高

八潮市一般会計における地方債(市債)残高は、295億1,050万4千円です。市債の残高のうち、最も大きな割合を占めているのは土木債です。これは、主に、道路、排水路の整備や区画整理事業の財源として借り入れたものや、つくばエクスプレス建設のための出資金や貸付金の財源の一部として借り入れたものです。鶴ヶ曽根体育館(エイトアリーナ)や学校体育館や図書館・公民館など教育施設の建設のために、借り入れた教育債も大きな割合を占めています。

また、特に近年の地方財政の財源不足を補うために、特例として発行が認められている特例地方債も大きな割合を占めています。

このように、地方債(市債)は、公共施設を整備する場合など、一時的に多額の費用がかかるときに金融機関などから借り入れる資金で、これを10年から15年間の長期間にわたって返済することにより、毎年の財政負担をならし、世代間の公平な負担を図っていくために使われています。

(単位:千円)

一般会計	29,510,504
土木債	14,910,010
特例地方債(減税補てん債等)	7,625,601
教育債	3,811,555
民生債	1,212,680
その他の市債	1,950,658
特別会計	26,074,566
公共下水道事業	19,732,714
大瀬古新田土地区画整理事業	1,016,160
西袋上馬場土地区画整理事業	401,732
八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	4,923,960
上水道事業会計(企業会計)	3,285,339
合計	58,870,409

地方債とは...

地方公共団体が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一般会計年度を超えて行われるものをいいます。